

2025 年 3 月 3 日  
商 工 中 金

## 自動車のワイパーシャフトを製造するシグマ株式会社に対し、 シンジケートローン形式でポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した 災害対応型コミットメントラインを締結

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（広島支店）は、シグマ株式会社（本社：広島県呉市、代表者：下中 利孝）に対し、シンジケートローン形式で災害発生時にも安定した資金調達が可能な災害対応型コミットメントライン（※1）8 億円を開設しました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを務め、広島銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。また本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※2）を適用しています。

同社は、ワイパーシャフトなどを中心とする自動車精密部品の鍛造や加工を手掛けています。冷間鍛造技術や金属樹脂一体成型技術を強みに、成型から機械加工まで一貫対応しています。2023 年 3 月には中小企業版 SBT 認定（※3）を取得し、カーボンニュートラルの実現に向け取り組んでいます。

（※3）企業がパリ協定に整合した温室効果ガスの排出削減目標を設定していることを示す国際認証

今回同社は、省エネルギー設備の導入や IT 技術の活用による業務改善等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上並びにBCP 対策のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスを活用した災害対応型コミットメントラインの開設にて対応しました。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【シグマ株式会社の概要】

|       |                 |         |                      |
|-------|-----------------|---------|----------------------|
| 所 在 地 | 広島県呉市警固屋 9-2-28 | 資 本 金   | 4,500 万円             |
| 代 表 者 | 下中 利孝           | 従 業 員 数 | 142 名（2024 年 11 月時点） |
| 業 種   | 自動車精密部品製造業      | 設 立     | 1962 年 8 月           |

### 【シンジケートローン形式・災害対応型コミットメントライン契約(※)の概要】

|               |                                                                |
|---------------|----------------------------------------------------------------|
| コ ミ ッ ト 総 額   | 8 億円                                                           |
| 契 約 締 結 日     | 2025 年 2 月 28 日                                                |
| アレンジャー兼エージェント | 商工中金 5 億円                                                      |
| 参 加 金 融 機 関   | 広島銀行 3 億円                                                      |
| コ ミ ッ ト 期 間   | 2025 年 3 月 7 日 ～ 2026 年 2 月 27 日 (更新 OP4 回)                    |
| 特 徴           | 広島県における震度 5 弱以上の地震発生時にも、コミット総額の範囲内であらかじめ定められた条件に基づく迅速な資金調達が可能。 |

(※1) コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。一般的なコミットメントラインでは、震災等の大規模災害時には金融機関の貸付不能事由とされているため、企業にとって大規模災害発生直後の資金確保に困難が生じる可能性があります。一方、災害対応型コミットメントラインは、一定規模以上の震災等について金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっているため、震災等の異常事態発生時も含めて、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能となります。

(※2) ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

